

遺骨発掘調査を求める韓国遺族の思いを聞く会

12月8日(金) 12時15分～12時45分

衆議院第一議員会館 国際会議室

長生炭鉱の犠牲者 183 人の遺骨発掘を 超党派で解決へ

国会議員の皆さま、炭鉱水没事故から 81 年もたつのに、遺骸は海の底に放置されたままです。

太平洋戦争中の 1942 年 2 月 8 日、国策である石炭の供出のため、山口県宇部市の長生炭鉱では、水漏れの危険がある中、石炭の発掘が強行され、炭鉱夫等 183 人が水没事故で命を奪われました。そのうちの 136 人が朝鮮半島出身者です。このまま遺骨を放置し続けることは、人道上からも許されません。遺骨の発掘を

求め韓国遺族会が 12 月 8 日に来日します。ぜひその思いを聞いて下さい

★ 同日 15 時より 衆議院第一議員会館 国際会議室にて
「国との意見交換会」にもご参席ください。

1993 年初めての追悼式に来日した韓国遺族会の弔辞（抜粋）

ああ、悲しみて気が遠くなるほどに

ああ、憤りで気が狂うほどに

ああ、悔しくてやりきれぬ

今も安らかに目を閉じることができずにいるあなた方

あなたが逝かれたその日 一九四二年二月三日

天も号泣し、地も慟哭しました

あなたが逝かれて半世紀がたちましたが、

あなたの遺骨さえ探し出すことができません

あなたの安息所をふるさとの山につくることもできない

親不孝者の息子と孫たちが

やっと今日この日

やっとここにやって参りました

.....

父よ、祖父よ、

許して下さい



遺族会代表 孫 鳳秀

※ 孫 鳳秀（ソンボンス）さんも直接皆様へ訴えます

長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 山口県宇部市常盤町 1-1-9 宇部緑橋教会内

連絡先：井上洋子（共同代表） 090-4803-5319